

# 令和8年度 地域未来交付金(デジタル実装型) 活用状況

事業番号		4						
事務事業名		郷土学習資料デジタルコンテンツ化事業						
担当部局		教育委員会事務局教育部	担当所属	文化財課	担当班 文化財活用推進担当班			
事業期間		令和8年度	交付金の種類	デジタル実装型				
実施体制		<input type="checkbox"/> 直接実施( )						
		<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理(委託先又は指定管理者:公募型プロポーザルを実施予定 )						
		<input type="checkbox"/> 補助金(補助先: 実施主体: )						
		<input type="checkbox"/> その他( )						
交付対象事業の概要	目的	小学生の郷土学習資料として活用されている「府内から世界へ 大友宗麟」(副読本)を、タブレットなどの学習環境の変化に対応した「郷土学習デジタルコンテンツ」(デジタル副読本)としてリニューアルを行う。あわせて、学校での学習にとどまらず、一般市民も利用可能な形でWeb上に公開することで、誰もが本市の歴史に触れ、学ぶことができる環境の整備を図る。						
	事業内容	<p>(1)郷土学習資料(副読本)のデジタル化 近年の学校現場における学習環境の変化(タブレットを活用した学習)及び、在宅学習、市民の生涯学習等の多様な学びに対応するために、副読本のデジタル化を行う。</p> <p>(2)内容の更新及び追加 刊行から10年以上が経過している既存の副読本の内容について時点修正を行うとともに、前後の時代に関する記述や、時代背景や用語解説等の補足を行う。</p> <p>(3)デジタルコンテンツとの連携・活用 2023年度より運用を開始している「大分市デジタルアーカイブ」に公開されている画像、動画、3Dモデル等のデジタルコンテンツをデジタル副読本に組み込む。あわせてデジタルアーカイブ側にもデジタル副読本への入口を設けることで、児童生徒に限らず市民も利用可能とする。</p> <p>上記(1)～(3)は、公募型プロポーザル方式で委託先を選定し、年度末までに完成、公開を行う。</p>						
R8年度事業費		事業費	3,000千円					
		財源内訳	国庫支出金	1,500	千円	県支出金等	1,350	千円
			一般財源	150	千円			
R8年度 経費内訳		原稿作成・デジタル化業務 1,144千円 イラスト等作成業務 660千円 取材等業務 990千円 サーバー保守管理費 148千円						
重要業績評価指標 (KPI)  ※目標値は最終事業年度の値		重要業績評価指標 (KPI)			目標値 (令和8年度)			
		郷土学習デジタルコンテンツへのアクセス数(件)			50			
		学校へのアンケートによる満足度(%)			—			